

WILL(ウィル)とは、『意志』という意味です。強い「意志」を持って
未来へと繋(つな)がる 新しい町づくりに取り組みます。

WILL

小亀重喜氏を支援する会からのお便り

小亀しげき後援会だより “ウィル” 平成21年(2009年)夏号

支援する会 事務所/住所: 〒766-0023 まんのう町吉野3410 TEL: 0877-79-2779
ホームページ(kamechanのブログ) ... <http://ameblo.jp/blog-kamechan/>



最終年度も果敢に奮闘中!

過分のお力添えを賜り、皆さまに町政の場へと送り出して頂いて、はや三年。小亀しげきは任期最終年度も積極果敢に活動を続けております。

平素より小亀しげきに対しご支援、ご厚情を賜り、有難うございます。後援会一同、深く御礼申し上げます。
さて、100年に一度とも称される不況の中で始まった2009年。半年が経過する中で、国は定額給付金や臨時交付金等、緊急経済対策により景気高揚をはかっていますが、エコ・環境分野においては幾分か光が射し込んでいます。ものの、全産業、そして当町のような地方や郡部を見渡せば、未だ回復にはほど遠い状況です。そのような厳しい社会環境の中で、町政の舵取りを担う町長も、チエック・提案機能を果たすべき議会

議員も、任期を締めくくる重要な年を迎えています。「しつかりと!はつきりと!」それが小亀しげき町政登壇を志した際のスローガンでした。しつかりと仕事をし、はつきりと結果を示す。今こそ初心に立ち返らなければなりません。皆様の「期待にお応えするため「目に見える成果」を残すべく小亀しげきは、引き続き精一杯活動して参ります。どうか今後とも相変わらぬご指導、ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。併せて、皆様方の益々のご健勝、ご多幸をお祈り申し上げます。(後援会一同)



この後援会だよりについてのご感想や小亀しげきへのご意見・ご要望をお聞かせ下さい。下の葉書を切り取ってお使い下さい。(切手は不要です)

話せば分かる!?



皆さん、小亀重喜です。日頃からのご支援、本当に有難うございます。冒頭からではございますが、現在のまんのう町政、決して順風満帆とはいえませんが、町政運営を進めるうえでは、ときに紛糾する事案が立ちまわります。そしてその多くは当該事案に要する費用の多寡等ではなく、「筋道(スジミチ)」の問題であったり、「合意形成プロセス」に対する異議によって混乱するケ

スが多いように思われます。「民意に沿った行政サービス」などと(我が町に限らず)巷では耳障りのよいフレーズが溢れています。住民の皆さんのご意見を汲み上げ、ご納得頂ける施策を展開していくのは、そんなにカンタンなことではありません。どこかで渋々我慢、ご了承頂き、折り合いをつけていかなければならない場合は、はるかに多いのが現実です。だからこそ必要なのが「話し合いのルール」だと思っております。きちんとルールが設定されていない/共通理解されていないから協議が進展せず、また、いったん設定したルールを軽んじ違えるから不信感が募るわけです。考えますに、住民と行政の間の話し合いには、大きく分けて二つの局面があると思います。ひとつは方向性を定めるため(白紙の状態)で住民の皆さんのご意見を聞

く段階、そしてもうひとつはそれを踏まえて決定した方向性を示し、住民の皆さんに理解を求める段階です。意見収集の場と聞いて出かけてみれば、半ば確定事項として通達されたり、片や決定されたはずの内容を問い質してみると、脆くも崩れ去ったり後戻りしたりしてしまふ。これでは「話し合い」は成立しません。「急がば回れ」とはよく云ったものです。論点を整理し、どのようなステップで決定していくのか、まずそのルールづくりから関係者間で合意していくべきだと考えます。そして、最終的に方向性を決するのは議会です。議会はその決定責任を住民や執行部に転嫁することは許されません。心してかかるべく改めて肝に銘じております。これからも頑張ります。今後とも何卒宜しくお祈り申し上げます。(小亀重喜記)

切り取り線
郵便はがき
料金受取人払
琴平支店承認
8
差出有効期限
平成22年12月
31日まで。
(切手不要)

(受取人)
香川県仲多度郡
まんのう町吉野3410番地

小亀重喜氏を支援する会

後援会事務所 行



※お手数ですがご記入下さい。

ご住所 〒	
お名前 男・女	
TEL	FAX
E-mail	@